

危険物乙4 暗記シート

指定数量・品名・保安距離・期限の数字を1枚に。2ページ目は数字を隠した確認用です。

1. 第4類の品名と指定数量

品名	決まり方 (1気圧)	法の例示	非水溶性	水溶性
特殊引火物	発火点100度以下 または 引火点-20度以下で沸点40度以下	ジエチルエーテル・二硫化炭素	50 L	—
第1石油類	引火点21度未満	アセトン・ガソリン	200 L	400 L
アルコール類	炭素数1〜3の飽和1価アルコール	(変性アルコールを含む)	400 L	—
第2石油類	引火点21度以上70度未満	灯油・軽油	1,000 L	2,000 L
第3石油類	引火点70度以上200度未満	重油・クレオソート油	2,000 L	4,000 L
第4石油類	引火点200度以上250度未満	ギヤー油・シリンダー油	6,000 L	—
動植物油類	動植物から抽出・引火点250度未満		10,000 L	—

特殊引火物・アルコール類・第4石油類・動植物油類は、水溶性でも同じ数量。水溶性は非水溶性の2倍 (第1〜第3石油類)。
倍数の合算：品名が違う危険物を同じ場所に置くときは、「貯蔵量 ÷ 指定数量」を足し、和が1 以上なら指定数量以上とみなす。

2. 製造所の保安距離と保有空地

住居 (同じ敷地内を除く)	10 m 以上
学校・病院・劇場など多数の人を収容する施設	30 m 以上
重要文化財などの建造物	50 m 以上
高圧ガスの施設 (規則で定めるもの)	20 m 以上
特別高圧架空電線 7,000V超〜35,000V以下	水平 3 m 以上
特別高圧架空電線 35,000V超	水平 5 m 以上
保有空地 (製造所)：指定数量の倍数 10 以下	3 m 以上
保有空地 (製造所)：指定数量の倍数 10 を超える	5 m 以上

保安距離は、不燃材料の塀などで市町村長等が安全と認めたとき短くできる (住居・学校等・文化財)。

3. 期限と回数の数字

危険物保安監督者になれる実務経験	6 か月以上 (甲種・乙種)
保安講習 (従事し始めてから)	1 年以内
保安講習 (受講後)	受講日以後の最初の4月1日から 3 年以内
定期点検	1 年に 1 回以上
免状の写真	過去 10 年以内に撮影したもの
仮貯蔵・仮取扱い (消防長等の承認)	10 日以内

危険物乙4 暗記シート

確認用 (数字を隠した版)。答えは1ページ目。

1. 第4類の品名と指定数量

品名	決まり方 (1気圧)	法の例示	非水溶性	水溶性
特殊引火物	発火点100度以下 または 引火点-20度以下で沸点40度以下	ジエチルエーテル・二硫化炭素	_____	—
第1石油類	引火点21度未満	アセトン・ガソリン	_____	_____
アルコール類	炭素数1〜3の飽和1価アルコール	(変性アルコールを含む)	_____	—
第2石油類	引火点21度以上70度未満	灯油・軽油	_____	_____
第3石油類	引火点70度以上200度未満	重油・クレオソート油	_____	_____
第4石油類	引火点200度以上250度未満	ギヤー油・シリンダー油	_____	—
動植物油類	動植物から抽出・引火点250度未満		_____	—

特殊引火物・アルコール類・第4石油類・動植物油類は、水溶性でも同じ数量。水溶性は非水溶性の2倍 (第1〜第3石油類)。
倍数の合算：品名が違う危険物を同じ場所に置くときは、「貯蔵量 ÷ 指定数量」を足し、和が 1 以上なら指定数量以上とみなす。

2. 製造所の保安距離と保有空地

住居 (同じ敷地内を除く)	_____
学校・病院・劇場など多数の人を収容する施設	_____
重要文化財などの建造物	_____
高圧ガスの施設 (規則で定めるもの)	_____
特別高圧架空電線 7,000V超〜35,000V以下	_____
特別高圧架空電線 35,000V超	_____
保有空地 (製造所)：指定数量の倍数 10 以下	_____
保有空地 (製造所)：指定数量の倍数 10 を超える	_____

保安距離は、不燃材料の塀などで市町村長等が安全と認めたとき短くできる (住居・学校等・文化財)。

3. 期限と回数の数字

危険物保安監督者になれる実務経験	_____
保安講習 (従事し始めてから)	_____
保安講習 (受講後)	_____
定期点検	_____
免状の写真	_____
仮貯蔵・仮取扱い (消防長等の承認)	_____